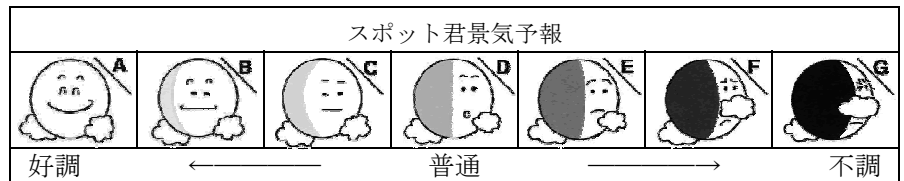


## 2. 目黒区内中小企業の景況（平成 27 年 4～6 月期）

### （1）今期の特徴点



### 製造業



製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 6.4$ で前期比 9.3 ポイント増と大幅に持ち直した。売上額は $\Delta 1.3$ で 9.8 ポイント増となり大きく持ち直した。受注残は 2.7 で 12.6 ポイント増となり、大幅に好転し、収益は $\Delta 2.5$ で 9.7 ポイント増と大幅に下降幅が縮小した。来期の見通しについては、収益はやや悪化し、業況・売上額はわずかに改善すると予想されており、受注残は前期並みの見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 2.6$ で 4.3 ポイント増とわずかに下降幅が縮小した一方、原材料価格は 17.9 で 6.4 ポイント減と大きく上昇幅が縮小した。在庫は 0.3 ポイント減の 3.8 と前期並みとなっている。来期の見通しについては、原材料価格はやや上昇幅が縮小、販売価格は前期並みで、在庫も前期並みとなっている。

資金繰りは $\Delta 7.8$ で 8.7 ポイント増と大幅に改善した。借入難易度は $\Delta 18.5$ でやや厳しさが増し、借入をした企業は 21.5%で 5.5 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 12.0%でやや増加した。来期の見通しについては、資金繰りは $\Delta 8.3$ と前期並となり、借入をする企業は 16.3%とやや減少する見込み。設備投資を実施する企業は 12.2%と変化なし。

経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 45.2%となった。2 位は「同業者間の競争の激化」で 29.0%、3 位は「原材料高」で 21.5%となった。

重点経営施策では、1 位は「経費を節減する」で 59.1%となった。2 位は「販路を広げる」で 52.7%、3 位は「提携先を見つける」で 14.0%となった。以下、4 位は「新製品・技術を開発する」で 11.8%、5 位は「人材を確保する」で 7.5%と続いた。

### 卸売業



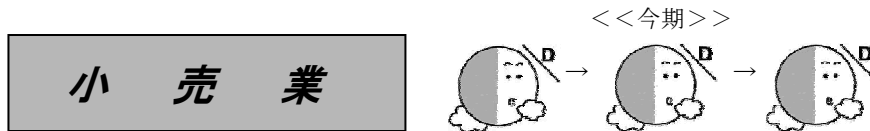
卸売業の主要指標をみると、業況は 1.0 ポイント減の $\Delta 8.5$ と前期並みの厳しさが続いた。売上額は 0.4 ポイント増の 5.0 となり、前期同様、増加が続いた。収益は $\Delta 0.2$ で 4.5 ポイント増となり、わずかに改善した。来期の見通しについては、収益はやや減少幅が拡大し、売上額は増加から減少に転じるが、業況はやや明るさが見える見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 7.2$ で 13.7 ポイント減と大幅に上昇から下降に転じ、仕入価格も、18.4 ポイント減の 1.3 とかなり上昇が弱まった。在庫については 0.2 ポイント増の 7.5 と前期同様の過剰感が続いている。来期の見通しについては、販売価格は、幾分厳しさが和らぎ、仕入価格、在庫は横ばいとなる見込み。

資金繰りは $\Delta 3.1$ で 2.9 ポイント減とわずかに厳しさが増した。借入難易度も 0.7 ポイント減の 3.7 と前期並みとなり、借入をした企業は 28.6%で 7.9 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 25.0%と 18.1 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは $\Delta 8.4$ と大きく苦しさが強まるが、借入をする企業は 21.4%とかなり減少する見込み。設備投資をする企業については 20.0%とわずかに減少する見込み。

経営上の問題点は、1位は「同業間の競争の激化」で35.7%となった。2位は「売上の停滞・減少」で28.6%となった。3位は「輸入品との競争の激化」、「利幅の縮小」が同率で21.4%となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で57.1%となった。2位は「販路を広げる」で46.4%となった。3位は「情報力を強化する」で25.0%となった。



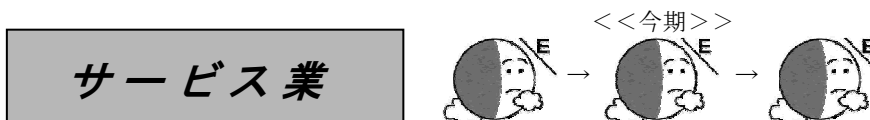
小売業の主要指標をみると、今期の業況は $\Delta 11.0$ で3.0ポイント増とやや上向いた。売上額は $\Delta 10.1$ で7.2ポイント増とかなり改善し、収益は $\Delta 6.4$ で12.7ポイント増と大幅に持ち直した。来期の見通しについては、売上額はやや減少を強め、収益は大幅に低迷し、業況は幾分厳しさを増す見込み。

価格動向については、販売価格は11.0ポイント減の $\Delta 4.9$ と大幅に上昇から下降に転じ、仕入価格は2.3で12.6ポイント減と大きく上昇幅が減少した。在庫は0.8ポイント減の2.8と、横ばいとなった。来期の見通しについては、販売価格は $\Delta 2.2$ とわずかに下降幅が減少し、仕入価格は7.9と今期は2.3のため5.6ポイント増であり大幅に上昇傾向を強め、在庫は $\Delta 2.2$ とやや過剰から品薄へと転じる見込み。

資金繰りは $\Delta 13.1$ で6.5ポイント増とかなり改善した。借入難易度は2.3ポイント減の $\Delta 7.7$ とやや窮屈感が強まり、借入をした企業は8.0%で6.1ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資をした企業は8.7%でわずかに増加した。来期の見通しについては、資金繰りは $\Delta 20.9$ とかなり苦しさが強まり、借入をする企業は6.3%と今期並みで推移し、設備投資をする企業は11.4%とやや増加する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で50.0%となった。次いで2位は「同業間競争の激化」で40.0%、3位は「大型店との競争の激化」で32.0%と続いた。

重点経営施策では、1位は「品揃えを改善する」で48.0%となった。次いで2位は「経費を節減する」で44.0%、3位は「宣伝・広告を強化する」で38.0%となった。以下、4位は「売れ筋商品を取扱う」が24.0%、5位は「商店街事業を活性化させる」が20.0%と続いた。



サービス業の主要指標をみると、今期の業況は $\Delta 22.0$ で0.9ポイント減と前期並みの低迷となった。売上額は13.7ポイント減の $\Delta 19.3$ と、かなり減少幅が拡大し、収益は7.8ポイント減の $\Delta 14.9$ と大幅に低迷した。来期の見通しについては、売上額がわずかに改善し、収益はやや回復の兆しとなることで、業況は幾分上向き見込み。

価格動向については、料金価格は2.7ポイント減で0.0となり、やや上昇幅が縮小した。材料価格動向については、料金価格は6.3ポイント減の15.3となり、大きく上昇幅が縮小した。来期の見通しについては、料金価格は3.8ポイント増の3.8、材料価格は2.2ポイント増の17.5と、いずれもやや上昇傾向が強まる見込み。

資金繰りは、 $\Delta 9.5$ で5.9ポイント増と大幅に厳しさが和らいだ。借入難易度は2.3ポイント増の $\Delta 1.9$ と幾分厳しさが和らいだ。借入をした企業は14.0%で2.9ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は16.1%で5.6ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りはやや厳しさが増し、借入をする企業、設備投資をする企業は、いずれも横ばいの見込み。

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で43.9%、2位は「同業者間の競争の激化」で40.4%、3位は「利幅の縮小」で15.8%となった。重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で50.9%、2位は「販路を広げる」で47.4%、3位は「宣伝・広告を強化する」で29.8%となった。

# 建設業



建設業の主要指標をみると、業況は13.4で11.8ポイント増と大幅に改善した。売上額は23.2で17.9ポイント増、収益は15.0で13.1ポイント増と、ともに増加幅が拡大した。施工高は17.0で5.2ポイント増とやや改善し、受注残は15.8で9.9ポイント増と大幅に改善した。来期の見通しについては、売上額は、23.2から22.5と減少し、収益は15.0から10.9とやや増加幅が縮小、受注残と施工高においては、いずれも大幅に上向くことから、業況はかなり良好感が強まる見込み。

価格動向については、請負価格は13.7ポイント増の20.9と大幅に上昇傾向を強め、材料価格は4.2ポイント増の46.3とわずかに上昇幅が拡大した。在庫については3.6で5.5ポイント増と大幅に過剰に転じた。来期の見通しについては、請負価格、材料価格、いずれも大きく上昇が弱まる見込み。

資金繰りは、 $\Delta 2.8$ で8.0ポイント増と大幅に改善した。借入難易度は5.4ポイント減の2.7とわずかに容易さが縮小し、借入をした企業は2.1ポイント増の21.6で前期よりもやや増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は2.8%で前期並みであった。来期の見通しについては、資金繰りは $\Delta 2.9$ と今期同様の苦しさとなり、借入をする企業は13.5%と大きく減少するとみられる。設備投資を実施する企業はやや増加し5.6%となる見込み。

経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で51.4%となった。次いで2位は「材料価格の上昇」48.6%、3位は「売上の停滞・減少」と「人手不足」が同率の24.3%で並んだ。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」51.4%。2位は「経費を節減する」が43.2%、3位は「人材を確保する」で35.1%だった。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

